

特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr.316

April 2017

NPO 法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE

GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

2017年度通常総会・会員懇親会のお知らせ

NPO 法人神戸日独協会は、2017年度通常総会を下記の要領にて開催いたします。
総会後には会員懇親会を開催し、会員の皆様と楽しい時間を過ごしたいと思っております。
総会と会員懇親会に、より多くの会員のご出席・ご参加を心よりお待ちしております。

2017年度通常総会

日 時： 2017年5月28日(日) 16:00～17:00

会 場： ユーハイム神戸元町本店ホール(3階)

(神戸市中央区元町通1-4-13 TEL 078-333-6868)

※ 会員の皆様には「総会開催案内」と「総会資料」を5月上旬にお送りいたします。
ご出・欠席のお返事は同封のハガキにて5月23日(火)までをお願いいたします。

会員懇親会

日 時： 2017年5月28日(日) 17:10～19:00

会 場： ユーハイム神戸元町本店ホール(3階)

会 費： 4000円

会費は同封の振込用紙で郵便局にてお振込み下さい。領収書は当日会場にてお渡しいたします。

申 込： 5月23日(火)まで事務室へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

神戸日独協会ロゴマーク決定

神戸日独協会は2016年9月発行の会報309号にて、協会を象徴するロゴマークとして実行委員会で試作された2つの下記A・B案をご提案して、会員の皆様のご意見を伺いました。

A 案



B 案



最終デザイン



- KOBE の
- は赤
- 羽根の色
- ←黒
- ←赤
- ←金

会員の皆様からはA案に対するご支持が圧倒的に多く、実行委員会ではピンバッジの作成、レターヘッドとしての利用等々を考慮して最終案の作成をめざして議論を重ねてきました。また部外のデザイナーの意見をもいただいて、最終的にロゴマークを作成しました。

すでに9月の提案の際にご説明しましたが、兵庫県の「県の鳥」でありドイツの「国の鳥」でもある「コウノトリ」をモチーフにして、大空に力強くそして優美に飛び立つシルエットをロゴとしてアレンジしました。コウノトリは日本でもドイツでも繁栄や幸運の象徴となっています。「これからもドイツと神戸日独協会との交流が、大空へはばたくコウノトリのように、繁栄がもたらされますように」との願いを込めました。

「神戸開港150年」の今年は、同時に神戸で実際的な日独交流が始まってから150年の記念すべき年でもあります。この記念に作成されたロゴマークが皆様に末長く愛され、神戸での日独交流のシンボルになりますよう願ってやみません。

協会では5月の総会にて会員の皆様にロゴマークのピンバッジが配布できますように、準備を進めています。

神戸日独協会新プロジェクト

「神戸再発見～日独二つの視点、二つの理解」について

神戸日独協会は、若者のグループGJG(Gruppe Junger Generation)を中心に新プロジェクト「神戸再発見～日独二つの視点、二つの理解」を企画しました。

GJGは神戸日独協会創立70周年を記念して、日独の若者による「現在の神戸」を実体験する共同活動を通じて、相互の異文化理解から現在の神戸の文化的特質を発信する「神戸案内」冊子の作成を企画しました。そのために、見慣れている神戸の街、神戸での歳時、神戸での生活等を日独の若者と一緒に神戸の街を歩き、見て、感じて、そして異文化の観点から話し合い、理解し、「現在の神戸」を再発見しようと、2012年11月から兵庫のドイツ語圏研修生・留学生と共に毎月日独の若者との『神戸再発見』を行ってきました。この神戸再発見はこれまで38回を重ねてきました。

「神戸開港150年」の今年、開港による神戸での日独交流150周年を記念してGJGは「神戸再発見～日独二つの視点、二つの理解」を企画しました。幸いにもこの企画は兵庫県国際交流協会「民間国際交流事業助成金」に採択されました。

プロジェクトの成果は、既存のガイドブックとは異なるアプローチによる日独若者の異文化理解に基づく「神戸案内」を作成し、神戸の若者や留学生のみならず、ドイツ語圏の大学、独日関係機関・団体へも発信し、地域から発信する国際交流に貢献したいと思えます。

GJGはこのプロジェクトに日独文化交流に興味・関心のある方の参加をお願いします。また、このプロジェクトには歴史・伝統等に対する年長者の知見・経験が不可欠です。若者に限らず多くの会員のご参加をお願いいたします。

このプロジェクトの具体的な実施項目、年間計画などについての会合を下記のように開催しますので、このプロジェクトに関心のある方は是非ともご参加ください。

日 時： 2017年4月16日(日) 17:00～

場 所： 神戸日独協会会議室

実行委員として神戸日独協会の活動に参加しませんか

神戸日独協会の主要な年間の活動は総会及び理事会によって決定されますが、日頃の活動は実行委員及び会員によって行われています。実行委員は定款上の役職ではなく、会員のボランティアによるものです。毎月第3日曜日に実行委員会を開催し、会員の方々が希望するあるいは実行委員のアイデアによる催し物を企画し、準備し、実行しています。神戸日独協会は会員の皆様の積極的なご支援を必要としています。

次回の実行委員会は4月16日(日)15時より協会会議室にて開催しますので、奮ってご参加ください。

ドイツ語談話室

第160回ドイツ語談話室

日時：2017年3月18日(土) 14-16時

場所：神戸日独協会 会議室

テーマ：私の好きな散歩道

今回の司会はドロテア合田さんが担当され、テーマ Wanderung に因んで、散歩の意味とは別の意味で、ドイツでマイスターになる為の、遍歴について話された。ドイツでは今もマイスターになるには、見習い修業3年の後の2年間の職人の研修中に、修業の旅をする例がある。この修業の旅が Wandern と呼ばれ、現在も行われているとの事。

次に参加者が、各々自分の好きな散歩道の話をした。以下その一部を紹介する。

—京都の哲学の道が好きで、ドイツの友人を連れて行ったら、彼も気に入った。また、自宅近くの大川沿いの桜並木もお気に入りの散歩道である。

—かつては、近くの公園を散歩したり、川沿いの道を散策したが、近年は時間がなく残念である。

—甲山公園は広くて小鳥たちも多く、とても健康に良いお気に入りの散歩道。一年を通して季節の景色が楽しめ、写真も多く取っている。

—近くの武庫川沿いの散歩道がお気に入り。仕事の後の休養に散歩をしながら、頭の中では多くのクラシックの曲が奏でられていて、心の散歩もしている。

—スイスのアイガー・メンヒ・ユンクフラウ山麓の散歩道と、フランスのシャモニーの谷を中心として、モンブラン山麓からスイスとの国境バルム峠辺りの散歩道が特に素晴らしく、お気に入りである。

—ハンブルクのアルスター湖周辺の散歩道が気に入り、よく歩いた。ハンブルクの市民も散歩好きだが、驚くのはとても早く歩くのと、散歩に似合わぬとてもエレガントな服装である事。

—ネッカー川沿いのブドウ畑に沿った散歩道が好きだった。今は岡本に住んでいて、六甲山への登山道や、住吉川沿いの散歩道も良く行く。鴨の親子が並んで歩いていたりして楽しい。

—デュッセルドルフに住んでいた頃、クリスマス時期ドイツの街はすべて閉まってしまうので、オーストリアのスキー場によく行った。昼はスキー、夜はレストランやダンスクラブで楽しんだ。

—明石城公園の散歩は、特に桜の時期が最高である。県下でも5指に入る桜の名所である。また、神戸の布引の滝から塩が原に至る散歩道も素晴らしく、お気に入りの道である。

—自宅から近くの散歩道がお気に入り。そこでは水鳥たちが見られて気分が安らぐ。自然の中で、鼻から息を吸い込み、ゆっくり口から吐き出して、気持ちを静かにさせる。

—箕面公園の散歩道を2時間かけて歩く。5月には有馬富士公園を散歩して三つ葉つつじを楽しむ。秋には砥峰高原のススキが原を散策する。

最後に、ドロテアさんの指導で、Das Wandern ist des Muellers Lust を全員で合唱した。

今後のドイツ語談話室の予定

第161回 2017年4月15日(土) 14-16時

テーマ：トランプ論

第162回 2017年5月20日(土) 14-16時

テーマ：福島原発問題の今後

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 160. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 18. März 2017, 14 bis 16 Uhr

Thema: Mein liebster Wanderweg

Dieses Mal hatte Frau Dorothea Goda die Gesprächsleitung und sprach zuerst über die Wandergesellen. In Deutschland mussten die Gesellen, um Meister zu werden, zwei Jahre lang an verschiedenen Orten eine Ausbildung bekommen. Dieses „Wandern“ existiert auch heute noch vereinzelt.

Zum Thema Wandern im heute meist üblichen Sinn erzählten die Teilnehmerinnen und Teilnehmer über ihre liebsten Wanderwege. Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Ein Teilnehmer hat den Philosophenweg in Kyoto besonders gern. Einmal ist er ihn mit einem deutschen Freund gegangen. Auch diesem gefiel der Weg sehr gut. Die Kirschbaumallee entlang des Okawa Flusses gehört ebenso zu seinen liebsten Wanderwegen.

-Eine Teilnehmerin ist früher oft in einem Park in ihrer Nähe am Ufer eines Flusses entlang spaziert. In letzter Zeit findet sie leider keine Zeit mehr für Spaziergänge.

-Einem Teilnehmer gefällt der Kabutoyama Park. Der Park ist groß, heilsam beruhigend und dadurch gut für die Gesundheit. Im Park finden sich viele kleine Vögel und er hat auch noch andere Naturschönheiten. In den verschiedenen Jahreszeiten macht der Teilnehmer dort auch viele schöne Fotos.

-Ein Teilnehmer macht gerne Spaziergänge entlang des Mukogawa Flusses. Nach der Arbeit erholt er sich bei diesen Spaziergängen körperlich und auch seelisch. Während des Gehens hört er im Geiste viele klassische Musikstücke.

-Für einen Teilnehmer sind die liebsten Wanderwege die Pfade am Fuß der Berge Eiger, Mönch und Jungfrau und die am Mont Blanc entlang im Chamonix Tal. Die Aussicht vom Col de Balme, dem Bergpass an der Grenze zwischen der Schweiz und Frankreich, ist wunderbar und gehört zu den besonderen Schönheiten des Chamonix Tals.

-Eine Teilnehmerin ist in Hamburg gern der Alster entlang spazieren gegangen. Die Hamburger lieben diesen Spaziergang. Erstaunlich war für die Teilnehmerin, dass die Leute dort sehr schnell gehen, und, von ihr gesehen, fast unangemessen schick für einen Spaziergang gekleidet sind.

-Eine andere Teilnehmerin machte gern Spaziergänge in Heidelberg dem Neckar entlang durch die Weingärten. Jetzt wohnt sie in Okamoto und wandert oft auf dem Berg Rokko oder entlang des Sumiyoshi Flusses, wo man hübsche Entenfamilien antreffen kann.

-Ein Teilnehmer fuhr während der Zeit, in der er in Düsseldorf wohnte, in den Weihnachtsferien oft zum Skifahren nach Österreich. In Düsseldorf selbst waren in den Weihnachtstagen fast alle Läden und Restaurants geschlossen. Am Tag fuhr er Ski, und am Abend war er tanzen. Er hat das sehr genossen.

-Ein Teilnehmer geht gern im Schlosspark von Akashi spazieren. Dieser Park zählt zu den fünf Plätzen in Hyogo, wo die Kirschbäume am schönsten blühen.

Er mag auch den schönen Fußweg vom Nunobiki Wasserfall bis hin zum Shiogahara Platz.

-Eine Teilnehmerin geht gerne einen Wanderweg in der Nähe ihres Hauses. Dort kann man verschiedene Wasservögel sehen. In der Ruhe dort kann sie durchatmen und sich richtig entspannen.

-Eine andere Teilnehmerin geht gern für zwei Stunden im Park von Mino spazieren. Im Mai geht sie auch oft zum Arimafuji Park und erfreut sich dort an den blühenden Azaleen. Im Herbst spaziert sie im Tonominekogen durch die schönen Susuki Gräser.

Zum Schluss haben alle zusammen unter der Leitung von Frau Goda „Das Wandern ist des Müllers Lust“ gesungen.

Nächste Treffen:

Samstag 15. April 2017, 14 bis 16 Uhr Thema: „Trumpologie“

Samstag 20. Mai 2017, 14 bis 16 Uhr Thema: Das Problem Fukushima

神戸日独協会 ドイツワインの会

第4回「ワインの産地を知る」 /Nr.4 Weinbaugebiet

神戸日独協会では、“日常生活の中でワインを楽しめるようになるきっかけづくり”をコンセプトに、日ごろ曖昧にしがちなワインの「いろは」を振り返り、試飲をしながらドイツとその食文化への理解を深める「ドイツワインの会」を開催しています。

第4回目のテーマは「ワインの産地を知る」。講師の松田耕治さん(株式会社ドイツ商事/ローテ・ローゼ代表取締役社長)より、地理、地質、気候などに触れながら、ドイツでワインが生まれる所について解説いただき、試飲をします。また今回は特別に、松田さんがこの4月にドイツ訪問した際に見聞した最新ドイツワイン情報も。まさに「ドイツワインの今」が学べる内容です。初参加でも大丈夫です。皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください！

日時／Zeit: 2017年6月4日(日)／Sonntag 4 Juni 2017
場所／Treffen: 14:00 神戸日独協会会議室 /JDG Kobe
定員／Teilnehmerzahl: 20名(先着)／ bis 20 Personen

※定員を超えた場合はキャンセル待ち

費用 /Kosten: 2,000円 / 2,000 Yen(会員: 1,800円 / Mitglied 1,800 Yen)

※締め切り日以後にキャンセルされた場合、後日料金を請求いたします。

ご了承ください。(締め切り日の申込者数でワインを発注するため。)

申込 /Anmeldung: 2017年5月30日(火)まで / Bis Dienstag 30. Mai 2017

Tel: 078-230-8150 E-mail: info@jdg-kobe.org

※初参加の方は、お申し込み時にお知らせください。(テキスト準備のため。)

※会報前号にて第4回の開催日を5月28日とお知らせしましたが、同日に通常総会が開催されるため、一週間日延べをして6月4日の開催ですので、ご注意ください。

ドイツワインの会 第3回「葡萄とドイツワイン」感想

ドイツワインの会第3回に参加して

北川 未来

今年の2月、神戸でドイツ語を学べる場所を探していた私は、神戸日独協会のHPに出逢いました。その時期はドイツ語講座の募集はまだしておらず、その代わりに第3回ドイツワインの会への参加者募集の案内を見つけました。今までドイツ文化とあまり関わりがなく、神戸日独協会がどのような場所なのか定かでなかった為、雰囲気を知るのに丁度よい！と思いドイツワインの会へ参加を決めました。

いざ参加してみると、とてもアットホームな雰囲気、参加者の方々もとても気さくで、今回初めて参加した私にとってとても楽しく、有意義な時間となりました。

講師の松田さんは、とても紳士的な印象ですが、ユーモアたっぷりにドイツワインについて教えて下さるので、第1回、2回を逃した私にもとても理解しやすく、少し敷居の高かったドイツワインを身近に感じることができました。また、ビンテージ違いの Riesling のテイastingでは、色、香り、味の違いを比べることが出来、このビンテージは酸があるから夏に合いそうだな、など想像が膨らみ、とても勉強になりました。また、松田さんがドイツを訪れた際に撮られた食事やワイナリーでの写真の数々は、普段の生活で私が目にすることがないので、とても新鮮で心が躍りドイツへの憧れがより一層強くなりました。

4月からこちらのドイツ語講座にてお世話になりますが、ドイツ語を身につけて、写真で出てきた名所やワイナリーへ訪れることが目標のひとつとなりました。

次回のドイツワイン会ではまた新たなことを学べると今からとてもワクワクしています。これからも楽しく勉強出来るドイツワイン会を期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

日独若者の「神戸再発見」

Gemeinsam Kobe neu entdecken

第39回「王子動物園～旧ハンター住宅&夜桜通り抜け」報告

実行委員・GJG担当 足立翔

今年の花見は例年の大阪造幣局とは異なり、王子動物園を訪れました。園内には旧ハンター住宅がありボランティアガイドさん自作のパネル解説があったので、ただ見るだけでなく建築様式細部のこだわりや、他の異人館との違いを知れたのがよかったです。

動物園ということもあって当イベントにご家族での参加があったのですが、見て触れて体験して感じ取ったことを他の参加と共有でき、とても有意義な時間が過ごせました。

事務室からのお知らせ

会報発送ボランティア募集

総会資料および会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。発送予定日は5月11日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越し下さい。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
4月15日(土) 14:00～	第161回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
4月16日(日) 15:00～	神戸日独協会 実行委員会	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
4月16日(日) 17:00～	「神戸再発見」 プロジェクト	神戸日独協会 会議室(19階)	当日参加可
5月28日(日) 16:00～	2017年度通常総会 会員懇親会	ユーハイム 神戸元町本店ホール	5月23日(火)まで
6月4日(日) 14:00～	「ドイツワインの会」 第4回「ワインの産地を知る」	神戸日独協会 会議室(19階)	5月30日(火)まで